

持続可能な社会とは？

これまでの消費型社会により地球の生態系や循環サイクルに支障がでるようになり、温暖化による影響や、ごみ問題、原子力をはじめとするエネルギー問題など人間の健康や生活、経済活動にも支障が出てきています。

消費型社会



<https://ourworld.unu.edu/jp/dennis-meadows-limiting-growth-to-save-the-world>

上記画像: 国連大学ウェブマガジンより

持続可能型社会



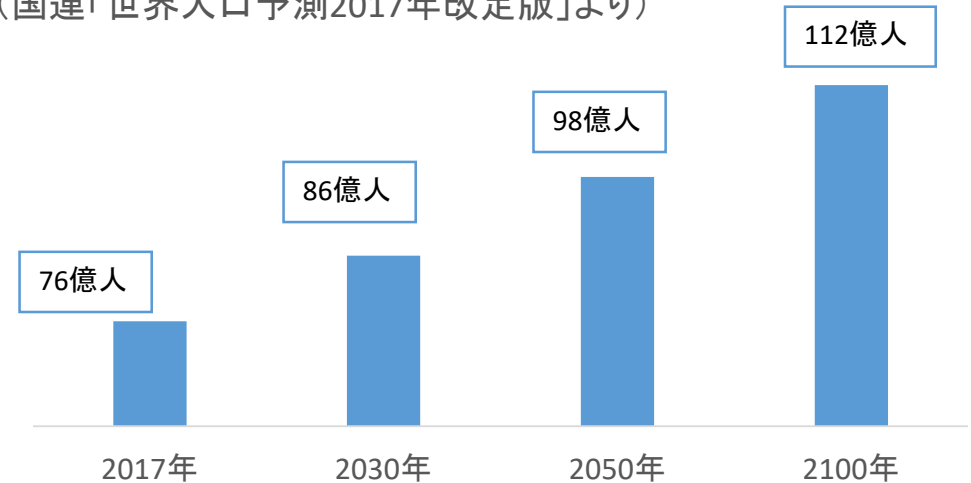
画像提供 One Planet Café
Peo Ekberg / Director, Environmental Manager

ゆえに、今、世界は「持続可能な社会」を目指しています。
持続可能な社会とは地球の生態系を守り、循環サイクルに合わせたバイオ・サイクル、テクニカル・サイクルを守ることにより半永久的に地球環境・地球資源を未来の世代に引き継ぐことを可能にする社会です。

地球は46億歳。現在76億人が暮らしています。
2050年には人口98億人に達すると予測されています。



世界の人口推移予測
(国連「世界人口予測2017年改定版」より)

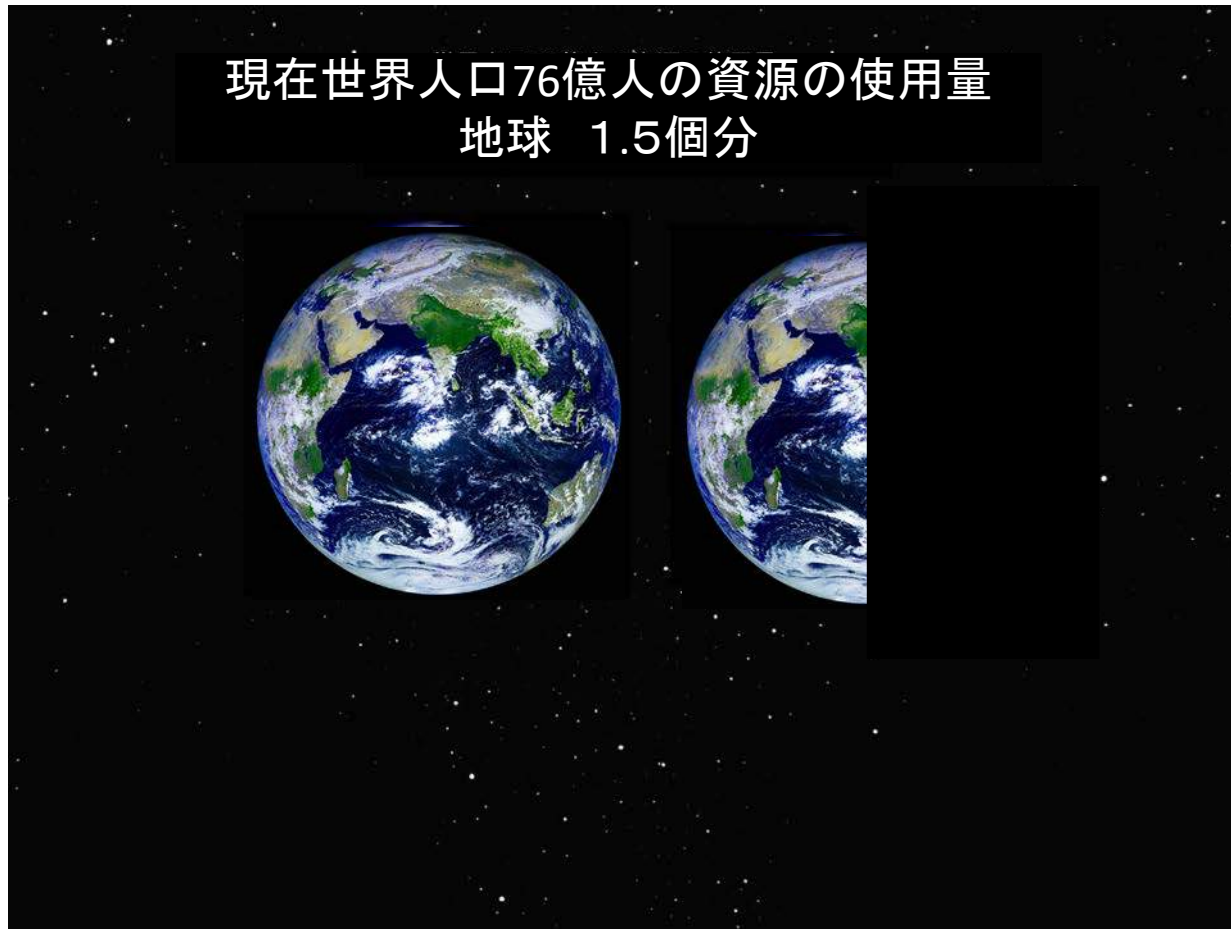


国連「世界人口予測2017年改定版」

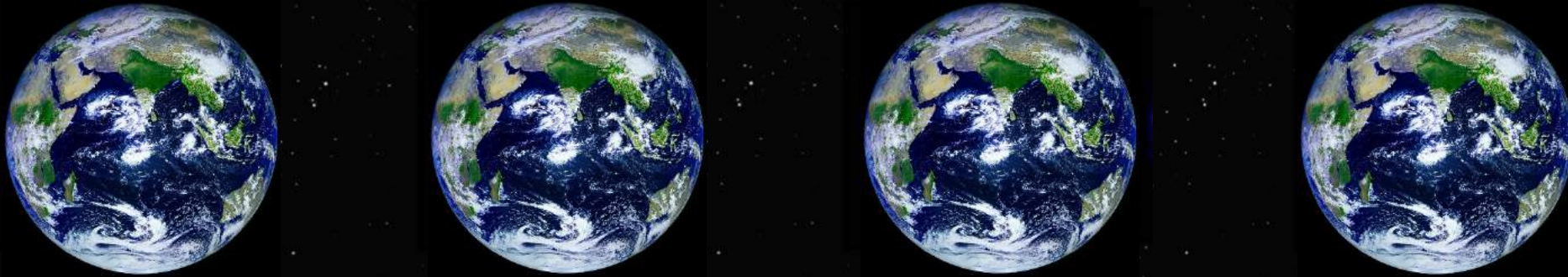
United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division (2017). World Population Prospects: The 2017 Revision, Key Findings and Advance Tables. Working Paper No. ESA/P/WP/248.

https://esa.un.org/unpd/wpp/Publications/Files/WPP2017_KeyFindings.pdf

現在、地球で暮らす私たち76億人はすでに「地球1.5個分」の資源を使っています。
言い換えれば、地球の資源が回復する1.5倍のスピードで使っていると言えます。



今後、2050年までに地球の人口は98億人に達すると予測されており、さらにアフリカ、インド、中国など人口が多い国々の人々の生活が豊かになると、地球4個分の資源が必要となるといわれています。



もちろん、地球は1つです。

1つの地球で賄える社会 = 持続可能な社会システムに
スピード感を持って早急に転換を図る必要があります。



持続可能社会の実現は国連を中心に世界全体で認知され早急な取組みが進められています。その目標をまとめたものが、「持続可能な開発目標（SDGs）」です。

【国連採択 17 の目標 SDGs】



2015年9月ニューヨーク国連本部「国連持続可能な開発サミット」にて150か国を超える参加国の成果文書として「我々の世界を変革する持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の「**持続可能な開発目標 (SDGs)**」は、2016年1月1日に正式に発効しました

出典：国連広報局、世界銀行（データ）

2030年までに

- 目標1 貧困をなくそう
- 目標2 飢餓をゼロに
- 目標3 すべての人に健康と福祉を
- 目標4 質の高い教育をみんなに
- 目標5 ジェンダー平等を実現しよう
- 目標6 安全な水とトイレを世界中に
- 目標7 エネルギーをみんなにそしてグリーンに
- 目標8 働きがいも経済成長も
- 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標10 人や国の不平等をなくそう
- 目標11 住み続けられるまちづくりを
- 目標12 つくる責任つかう責任
- 目標13 気候変動に具体的な対策を
- 目標14 海の豊かさを守ろう
- 目標15 陸の豊かさも守ろう
- 目標16 平和と公正をすべての人に
- 目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

2017年6月に2016年SDGs評価No.1を受けるスウェーデンを
専門家のコーディネイトのもと、視察させていただきました。

それをまとめたものをご紹介します。
よろしかったらご覧ください。